

ルール

1 大会試合球はクーバーボール4号級を使用する

2 競技者の用具について

- ① 両チームともに大会本部で用意する異なる色のビブスを着用する
- ② 競技者のシューズについて
スクール予選は、スクールの判断とする
エリア予選・決勝大会は、スパイク着用は禁止とする（代表チームには周知のこと）
- ③ レガース（すね当て）は必ず着用する
- ④ ヘッドガードは必ず着用する
スクール生以外の一般参加者は、主催者側が用意する
- ⑤ 競技者の用具は、その競技者のみならず相手競技者にとっても安全なものであればならず
試合開始前に競技者および交代要員の用具はレフリーによって検査される

3 キックオフシュートについて

怪我防止の観点から、センターサークルからボールが出るまで禁止とする
違反があった場合
シュートをした地点から行う間接フリーキックが相手チームに与えられる

4 交代について

【フィールドプレーヤー】

自由な交代を採用し、自ベンチ前タッチラインで下記の方法でレフリーの承認なしで行う

- ① 交代して退く競技者は、自ベンチ前タッチラインからフィールド外に出る
- ② 交代要員は、自ベンチ前タッチラインからフィールドに入り、競技者となる
- ③ 交代はボールがインプレー中、もしくはアウトオブプレーに関わらず行うことができる
- ④ 交代はレフリーの承認を得る必要はない

【ゴールキーパー】

競技時間の確保の観点から、原則フィールド内において競技者同士の交代は認めない
怪我等の場合はこの限りではない
交代はフィールドプレーヤー同様に行う

5 ファールと不正行為について

競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる
再開方法 すべてPKが相手チームに与えられる

6 フリーキック

ボールがインプレーになるまで、相手競技者は5m以上ボールから離れる

7 コーナーキック

ボールがインプレーになるまで、相手競技者は5m以上ボールから離れる

8 キックイン

相手競技者は、キックインが行われる地点から5m以上離れる

9 ゴールキック

自ペナルティーエリア内の任意の地点から守備側チームの競技者によってけられる
相手競技者は、ボールがインプレーになるまでペナルティーエリアの外にいる
他の競技者がボールに触れるまで、キッカーはボールを再びプレーしてはならない
ボールは、ペナルティーエリア外に直接けり出されたときインプレーとなる
(ゴールクリアランスは行わない)
(フットサルのバックパスルールは採用しない)

10 スライディングタックル

スクール同様に相手競技者のプレーエリア内でのスライディングタックルは、怪我防止の観点から禁止とする
違反があった場合
スライディングタックルをした地点から行われる直接フリーキックが相手チームに与えられる

11 オフサイド

オフサイドは採用しない

12 競技方法

- 1) グループリーグ :4分ハーフ インターバル1分
順位トーナメント:5分ハーフ インターバル1分

グループリーグ順位の決定は下記の順序とする。

- 2) 1. 勝点（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）
2. 得失点差
3. 総得点
4. 該当チームの対戦成績
5. 抽選